

2024
6/1-7/21日
土

特集展示「没後100年記念 黒田清輝と住友」

「開館時間」11時-18時

※金曜日は19時まで開館 ※入館は閉館の30分前まで

「休館日」月曜日(祝日の場合は開館、翌平日休館)

「入館料」一般1000円(800円)

高大生600円(500円)、中学生以下無料

※20名様以上の団体は(一)内の割引料金

※障がい者手帳等ご提示の方は、本人および同伴者1名まで無料

「主催」公益財団法人泉屋博物館、日本経済新聞社

雅やかな
やまと絵の世界

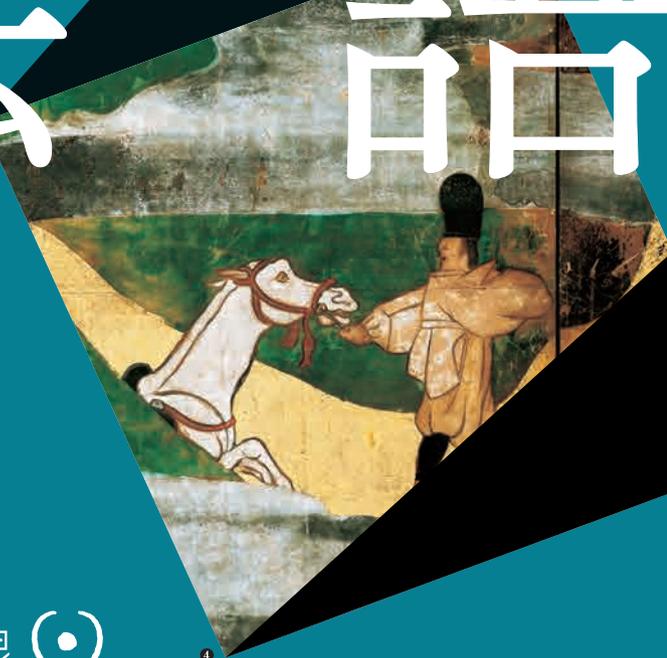
歌

LYRICAL AND
NARRATIVE PAINTINGS

物語

THE ELEGANT WORLD
OF YAMATO-E

の絵



- 1 竹取物語絵巻 (江戸・17世紀)
- 2 平家物語大原御幸図屏風 (桃山・16世紀)
- 3 三十六歌仙書画帖 松花堂贈米 (江戸・元和2年「1616」)
- 4 伊勢物語図屏風 (江戸・17世紀)
- 5 源氏物語園屏風 (江戸・17世紀) (全て部分)



泉屋
博物館

東京

SEINIKOKU
HAKUKOKKAN
MUSEUM
TOKYO

古

来、語り読み継がれてきた物語は、古くから絵巻物など絵画と深い関係にありました。和歌もまた、三十一文字の世界が絵画化されたり、絵から受けた感興から歌が詠まれたりと、絵画との相互の刺激から表現が高められてきました。物語絵や歌絵の特徴のひとつは、繊細な描写と典雅な色彩。宮廷や社寺の一級の絵師が貴人の美意識に寄り添い追求した「やまと絵」の様式を継承することでしょう。そして、ストーリーに流れる時間を表すかのような巻物、特別な場面を抽出してドラマティックに描き出す屏風など、長大な画面にさまざまな表現が生まれました。古典文学は、後世の人々が自身に引き寄せて味わうことで、読み継がれ輝き続けてきました。それに基づく絵画もまた同様です。本展では、近世の人々の気分を映し出す物語絵と歌絵を、館蔵の住友コレクションから選りすぐってご紹介します。雅やかで華麗、時にちよつとユーモラスな世界をお楽しみください。

※展示替があります



伊勢



藤原興風

うたうたう絵



右：松花堂昭乗
三十六歌仙書画帖
江戸・元和2年
(1616)
中：柳橋柴舟図屏風
江戸・17世紀
左：扇面散・
農村風俗図屏風(部分)
江戸・17世紀

ものかたる絵



上：源氏物語図屏風
江戸・17世紀
左：平家物語・
大原御幸図屏風
桃山・16〜17世紀



伊勢物語図屏風
江戸・17世紀

是喜房絵巻(部分)
南北朝・14世紀
(重要文化財)



鼠狐言婦絵巻(部分)
明治5年(1872)
菊池容斎

泉屋博古館東京

〒106-0032 東京都港区六本木1-5-1
TEL 050-5541-8600 (ハローダイヤル)
<https://sen-oku.or.jp/tokyo/>

【アクセス案内】

- 東京メトロ・南北線「六本木一丁目」駅下車
北改札正面出口より屋外エスカレーターで3分
- 日比谷線「神谷町」駅下車・4b出口より徒歩10分
- 銀座線「溜池山王」駅下車・13番出口より徒歩10分

○ 休館日・開館時間および展示内容を変更する場合がございます。
当館のホームページ、SNS等で最新の情報をご確認ください。

Facebook: @SenOkuHakukoKanTokyo
Twitter: @SenOkuTokyo
Instagram: @senokuhakukokanmuseum_tokyo



特集展示「没後100年記念 黒田清輝と住友」

- 1 特別講演会「要予約・要観覧券」
「響き合うイメージ―源氏物語の美術―」
6月8日(土) 14時〜15時30分
【講師】佐野みどり氏(國華主幹、学習院大学名誉教授)
- 2 特別企画(要予約・要観覧券・要参加費) 参加費3,000円
「京ことばで楽しむ源氏物語図屏風」
7月1日(月) 14時〜15時30分 展示室にて
女房語り 山下智子氏
- 3 学芸員トーク(予約不要・要観覧券)
6月14日(金)、7月2日(火)
15時〜16時(当日11時より整理券配布)
【講師】実方葉子(泉屋博古館学芸部長)
- 4 特別講演会「要予約・要観覧券」
「黒田清輝『昔語り』の舞台裏」
7月13日(土) 14時〜15時
【講師】吉田暁子氏(東京文化財研究所研究員)
- 5 アートwithレクチャー
「要予約・要観覧券・要参加費」(参加費5,000円)
「展覧会をつくる、造作のひみつ」
6月21日(金) 17時30分〜18時30分
【講師】風坂智和氏(株式会社芸芸堂)

